



たらあ

平成 29 年
新年号
平成29年1月1日発行
No.514

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



新成人
大人になりました！



多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。



the most beautiful
villages
in japan

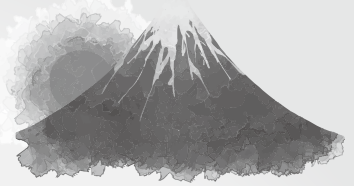


新年のごあいさつ

多良間村長

伊良皆 光夫

Mitsuo Iramina



村民の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、村政全般にわたり、多大なるご尽力をいただきましたことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

平成29年、新しい年がスタートいたしました。今年も多良間神社・各御嶽でのウイヌーダミで新年を迎えますが、昨年の神社祭は35、6年ぶりに児童・生徒の参拝もあり、島

建ての英雄土原豊見親と学校との関わりを学習するとともに、改めて先人への感謝の心を表すことができました。八月踊りやスツウプナカのような伝統行事を絶やさぬ継承、3年前の村制百周年と合わせて、改めて、多良間村の歴史と伝統の重さを実感しており、村長として、ふるさと多良間村の限らない発展に向け、全力を尽くす決意をいたしているところでもあります。

昨年、13年ぶりの沖縄県知事行政視察、沖縄県出先機関と市村との

意見交換会の本村開催、沖縄振興局長の行政視察、ほかに総合事務局や県、日本で最も美しい村連合会長など、多くの方々をお迎えし本村の実情をご覧になるとともに、今後のご指導・ご協力をお願いしてきたところでもあります。さらには、農水省への国営事業要請、県への各種事業要請等行つてまいりました。

私自身は、村民の皆様のご支援をいただき村政を担わせてまいりましたが、今年、一期4年の任期を迎えることとなりました。一期目の公約につきましても、産業の振興など村民の皆様のご協力により、概ね実行することができ、同時に子育て支援・教育環境の整備・過疎化対策など多岐にわたつて進めることができました。しかし、少子高齢化が進行し、支える側である生産年齢人口は減少、支えられる側の人口が増加しつつあります。また、全国的な人口減少社会は地方に大きな波となつて打ち寄せています。このような、状況を打開するためには、しつ

かりとした現状把握と、将来の見通しと、計画性をもつて、行政のみでなく、村民の皆様とともに「協働の村づくり」を進めなければなりません。そのため、「多良間村人口ビジョン・総合戦略」「総合計画後期基本計画」を策定いたしました。10年・40年先の将来を見据えた施策を展開し、スピード感をもつて取り組んでまいります。さらに、自ら行動できる地域づくり、人づくりを行つていきたいと考えています。

これらの実現のためには、村民の皆様のご理解・ご協力は欠かすことはできません。どうぞ、将来の多良間村の礎を築くため、「すすめる決断」「とどまる勇氣」をもつた村政改革運営にご理解・ご協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

結びに、今年一年、全ての村民の皆様にとりまして、健やかで、穏やかに過ごしていただきますよう、衷心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成29年元日



新年のごあいさつ

多良間村議会
議長

森山 実夫

Saneo Moriyama



新年明けましておめでとうござ
います。

村民の皆様には、新たな希望と抱
負に満ちた輝かしい平成二十九年
の新年をお迎えのこととお慶び申
し上げます。

また、村議会活動に対しまして
は、日頃から温かいご理解とご協力
を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、八月に
開催されたリオデジャネイロオリ
ンピックで日本はメダル数四十一
個と史上最多を更新し、大きな感動
をたくさん与えてくれました。

また、沖縄県内では、米軍に係る事
件、事故等が多くあり県民大会も開催
され、基地問題に揺れた一年でした。

一方、村内ではスポーツ面での児
童生徒の大活躍があり宮古地区大
会や県大会でも上位入賞を果たす
など私達に大きな感動をもたらし
ました。

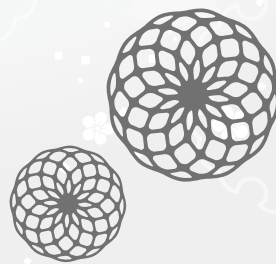
農業面でも、子牛の高値が続き、
売上高が八億円を突破しておりま
す。さらに、サトウキビも台風や干

ばつ等の被害も少なく豊作型とな
り、葉たばこ、カボチャ等も、天候
に恵まれ、今年も期待されます。

そして、今年も、私どもにとりま
しては、改選の年となります。社会
経済情勢は引き続き厳しい状況が
続くものと予想されますが、残りの
任期をさらなる村政発展の為取り
組んで参ります。

今後とも村議会に対しましてご
支援・ご提言をお願い申し上げ、平
成二十九年の酉年が村民の皆様にと
りまして、実り多い年であります
よう祈念申し上げ、新年のごあいさ
つといたします。

平成二十九年元日





新年のごあいさつ

多良間村教育委員会
教育長

池城 三千雄

Michio Ikeshiro



あけましておめでとうござい
ます。

村民の皆様には、輝かしい
2017年の初春を迎えられ、心身
ともに益々ご健勝にてご活躍のこ
とと、お慶び申し上げます。

2016年(平成28年)を振り返
りますと、学校では子ども達の基
礎学力の定着を目指して、各種検
定「漢字検定、算数検定、数学検定、
英語検定」を実施し自己の成績アッ
プを目指して挑戦しております。そ
の他の継続事業は、英会話指導の一
環として小学校、中学校へ月2回
ALTの派遣事業。グッジョブ地
域連携協議会が沖縄県雇用政策課
補助メニューを活用した、小学校6
年生修学旅行を利用して、那覇市で
ジョブシャドウイング事業、中学
2年生が夏期休暇中に、那覇市で3
泊4日の日程で職場体験を実施し
ております。

新規の事業として、児童生徒の学
習支援の一環として、小学校4年生

から中学校3年生を対象に「村営無
料学習塾」の開設、子育て支援の一
環として、幼稚園教育課程終了後、
午後の「預かり保育事業」のスター
トが出来ました。

生涯学習、社会教育活動の拠点施
設では、第2回コミニティーまつりを
開催し、写真展をはじめ、児童生徒、
高齢者がんじゅう学級生等の展示
物、各種団体舞台発表、文化講演会
を行っております。

教育委員会としましては、子ども
達の健全育成に努めて行くことを
基本にしています。そのためには「学

校・家庭・地域・行政」の連携が不
可欠であります。「島の子ども達は
みんなで守り育てる」「早寝・早起き・
朝ご飯」、連携を密にして取り組ん
で行きたいと思っております。

2017年の酉年が、「十日超し
夕雨に恵まれ、豊年」の一年になり
ますよう祈念申し上げます。

今後とも、子ども達の健全育成の
ため、ご指導、ご協力をお願い致し
まして新年のごあいさつといたし
ます。

平成29年1月 新春

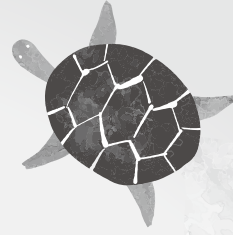




宮古製糖(株) 多良間工場
工場長

来間 春誠

Syunsei Kurima



新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうござ
います。

村民の皆様におかれましては、希
望に満ちた輝かしい新年を迎えら
れたことと、お慶び申し上げます。
また日頃より、弊社の業務推進に対
し、心温まるご指導、ご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

さて、昨製糖を顧みますと、さ
うきび作柄は、相次ぐ台風襲来によ
る折損被害や、潮風害を受けて低収
量となりました。特に品質において
は、甘蔗糖度十二・九度で品質取引
制になってワースト2の成績とな
りました。しかし、今期さとうきび
は、気象条件に恵まれ、台風被害や
病害虫被害も軽微で生育旺盛に推
移しており、平年作以上の作柄が見
込まれます。(生産量二万三千トン
余) 品質についても平均甘蔗糖度
十四度以上の高糖度が予想されま
す。糖度が原料代金の単価算出の基
となることから、農家の皆様の所得
向上に繋がるものと期待致します。
ところで、今期製糖操業は、去つ

た平成二十八年十二月二十日に開
始しており、四年振りの年内操業と
なりますが、順調に稼働しておりま
す。今製糖も農家の皆様が手塩にか
けて育てたさとうきびを、搬入・圧
搾して炊きあげ、風味豊かな、かつ
安心・安全な黒糖づくりに職員一丸
となって全力を傾注して参る所存
であります。

一年中を通して最も島が活気づ
く製糖シーズンに入りますが、生産

農家、関係する皆様には、どうかこ
れまで同様にご指導・ご鞭撻と、な
お一層のご協力を賜りますようお
願い申し上げます。

結びに、環境に優しいさとうきび
一面に覆われた、緑豊かな多良間村
の益々のご発展と併せて、皆様方
ご健康とご多幸を祈念申し上げ、年
頭のご挨拶と致します。

平成二十九年元日



4年ぶりの年内操業

去る平成28年12月20日(火)宮古製糖多良間工場の2016-17年度期製糖操業が始まった。

操業開始式で宮古製糖の安村勇社長は「4年ぶりの年内操業開始になります。農家の皆さんの期待に応えられる良い製品作りに努めたい。また農家の皆さん、工場の皆さんと関係者の皆さんが安全第一で操業できるように操業期間中は心掛けてほしい」とあいさつした。

同工場によると今期の生産量は2万2750ト、1日の压榨高は230トを見込んでいます。操業日数は100日から103日で、3月31日の終了を予定している。

多良間工場は今期製糖で4年の幕を下ろし、次年度からは新しい製糖工場に建て替えられる。



ご注意ください!

農地等の贈与を受けると、贈与税の申告と納税が必要となる場合があります。

☆農地等の贈与を受けた場合の財産の取得の時期

農地等の贈与を受けた場合の財産の取得の時期は、原則として農業委員の許可（農地法第3条1項、5条1項）又は届出（農地法第5条1項ただし書）の効力が生じた時となります。

注) 土地の贈与についての財産の取得の時期は、通常は登記日ですが、農地等については、上記のとおり農地以外の土地の贈与の場合と異なりますので、ご注意ください。

☆贈与税の申告について

1月1日から12月31日までの1年間に贈与を受けた財産の価額又は受けた利益の価額の合計額が110万円を超える場合には、翌年の2月1日から3月15日までの間に贈与税の申告と納税が必要となります。

相続時精算課税を選択する（している）場合には、贈与を受けた財産の価額又は受けた利益の価額に関わらず、贈与税の申告が必要です。

贈与税の計算をする際の土地等の財産の価額は、市町村の固定資産税評価額とは異なります。贈与税の申告・財産の評価方法等については、税理士又は宮古島税務署へご相談ください。

※税務署窓口での相談は、事前予約制となっていますので、事前に電話等により確認してください。

宮古島税務署（資産課税担当）Tel：0980-72-4874

国税庁ホームページの「確定申告作成コーナー」贈与税の申告書が作成できます。また、贈与税の申告は、e-Tax（電子申告）が大変便利です。

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

国 税 庁 | 検 索

<http://www.nta.go.jp> 

12月

世帯数と人口 (平成28年12月末現在)		
総世帯数	526 (-1)	
総人口	1,182 (0)	
男	635	女 547
区別	人口	世帯数
土原	58 (0)	30 (0)
天津川	92 (0)	40 (0)
川良	99 (-4)	50 (-2)
宮嶺	78 (7)	32 (2)
間道	150 (0)	68 (0)
大木	195 (-1)	97 (1)
吉川	294 (-1)	121 (-1)
水納	211 (-1)	84 (-1)
	5 (0)	4 (0)
出生	1	死亡 1
転入	2	転出 2

()内は前月比

誕生

字仲筋102番地 森山 英樹・要さんの二男 銀次郎くん 平成28年12月14日

おくやみ

字塩川225番地 伊良皆 正明 (90歳) 平成28年12月11日

緊急ダイヤル	
火災・救急 ワンクッションコール	119番
警察官 派出所 (79-2010)	110番
急病人 多良間診療所	79-2101
歯科診療所 医師	79-2162
停電 沖縄電力多良間営業所	79-2147
断水 役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病 役場産業経済課	79-2503
ガス専用JA多良間	090-6859-2355

**救急に関すること
(12月)**

- ◆時間外救急受付 14件
 - ◆救急車出動 0件
 - ◆ヘリ搬送 0件
- 火災・救急ワンクッションコール：
119
- ※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

広報たらま寄附金のお礼

- 親里 勝也様 (埼玉県在)
- 伊良皆 源康様 (東京都在)
- 上間 麗子様 (那覇市在)
- 伊良皆 充様 (宮古島市在)
- 伊良皆 秀安様 (西原町在)
- 西筋 昌則様 (那覇市在)
- 渡久山 春正様 (宮古島市在)

ありがとうございました。

年金をあきらめていた皆さんへ

- 1 年金を受けるために必要な期間(保険料納付済等期間)が**25年から10年**に短縮されます。
- 2 対象者は既に**65歳以上**の方で、年金を受け取るための必要な期間(保険料納付済等期間)が**10年以上**の方が対象になります。
対象者の方には平成29年2月末～平成29年度7月までの間に日本年金機構から「年金請求書」を順次お送りします。
- 3 手続きは、「年金請求書」に必要事項をご記入の上、必要書類と併せて、お近くの年金事務所までお持ち下さい。
- 4 平成29年度9月分から受給できます。(9月分を10月分にご指定の口座振り込みます。

注意

日本年金機構から「[年金請求書]」を送付しますので**手数料を振り込んでほしい**との電話は一切ありませんので、不審な電話にご注意ください。



編集後記

*明けましておめでとうございます。年が明けても多良間は、あたたかい日が続いている。

本土では大寒波とか大雪とかのニュースが流れているが、役場内のある職員は未だに半袖である。

暖かさの影響か、1月なのに夢パティオたらまの南側の畑にはコスモス(秋桜)が、かわいい花を咲かせていた。この時期に見るとなんだか得した気分である。

*今年(酉年)ですが、酉年の「とり」は「とりこむ」と言われ、商売などでは縁起の良い干支だそうです。皆さまの商売繁盛を祈念致します。

この「広報たらま」も、今まで以上に多くの方を取り込み、楽しんでいただける広報誌に出来たらと思います。

今年も「広報たらま」をよろしく願います。

なかまさとや
仲間智也

村長のたうけ一むぬ中む。(ひとりごと)

「三本の矢」の元祖は毛利元就の「三矢の教え」がよく知られている。毛利元就は一四九七年の生まれ。多良間島の英雄土原豊見親とらばるに十七〜八歳程若い。

元就が晩年になり、ある時、三人の兄弟を呼びつけ、一本の矢を折ってみよ！と三人の息子達に言った。三人の息子たちは、すぐに折ってみせた。では、次に一本の矢を三本に束ねた状態で折ってみよ！と言った。息子たちは勢いよく力を入れたが、子供たち一人ひとりの力では折れません。一本の矢では、簡単に折れてしまう。一人の力では弱い。だが、三本の矢なら、なかなか折れない。人も三人の力をあわせれば、どんな困難でも立ち向かえる。強固な絆が生まれる。という、「兄弟の結束・団結力を説いた」教えだ。ただ、この教えは元就が記した「十四か条の遺訓」が後世に伝わり「三本の矢」の教えになったと言われている。

る。

現代版では、安倍首相が表明した経済政策「三本の矢」を中心としたアベノミクスだ。一つ目に、「大胆な金融政策」バブル崩壊以降の二十年間における不況の最大要因をデフレ(物の値段が安すぎる)ととらえ、デフレ脱却をめざし、2%のインフレ(物価を上げる)目標をたて、日銀に対して無制限の量的緩和策(市中に出回るお金を増やす)を決めた。二つ目に、「機動的な財政出動」。三つ目に「民間投資を喚起する成長戦略」である。

ところが、道なかば「新三本の矢」への政策転換だ。いわゆる(1)強い経済・経済最優先で「戦後最大の国民生活豊かさ」に向け、GDP(国民総生産)600兆円達成を目指す。(2)子育て支援・希望出生率1.8を目指すし、待機児童ゼロの実現や幼児教育の無償化の拡大など子育てにやさしい社会を創り上げ

る。(3)社会保障・仕事と介護が両立できる社会づくりと、意欲ある高齢者が活躍できる「生涯現役社会」構築を目指す。としたが、「新三本の矢」への政策転換は、経済政策失敗の目隠し、と批判もあるが、その意図は。

我が家にも、ひと昔前から「三本の矢」の教えがあった。夏場、我々兄弟は、爺さん(祖父のこと)と畑にある小屋ぼんやでよく泊まった。井戸があり、水には困らなかった。主食はイモで、農作業の合間に魚取りによく海にいった。それで、魚は豊富だが冷蔵庫がないので保存は限られていた。イモと魚だけは、よく食べた。たまのソーメン汁はごちそうだった。ローソクはなく、日の出と共に起き、太陽が沈むころは寝る生活だった。寝る前のしばしの明かりは、かまどの薪たきぎだった。爺さんからは、かまどの灰の上で、寝るまえのひと時、文字を習った。海の話も、農業

の話もよくした。口癖にいったのが、我家の財産は限られている。兄弟全員に分け与える分はない。「長男は跡継ぎだから、畑で生活をしなさい。次男は海が好きだから海で生活しなさい。三男からは何もないので学問や腕を磨いて生活しなさい」十名の兄弟姉妹、それぞれの道を歩んでいるが、爺さんの教えは生かされているだろうか。

さて、TPPの国会承認、米大統領の脱退方針で、発効は困難といわれている。それでも、農業には荒波だ。本村の今年一年の「かりゆうす航海」と幸運を願う。



金本